JIFAS NEWS
Japan international Food and Aquaculture Society

E-mail : jifas@sage.ocn.ne.jp http://www.jifas.net
〒302-0131
茨城県守谷市ひがし野 2-1-1001
TEL:080-5084-6541

市場と連携し魚食普及
札幌水産物商業組合

佐々木貞幸理事長

【札幌】

札幌水産物商業協同組合（札幌水協、理事長・佐々木貞幸珍味センターカネハラ佐々木水産社長）は今年度、前年度に引き続き札幌市中央卸売市場が組合員に使い勝手の良い市場となるよう努めるとともに、「魚食」を理事者・職員が一丸となって市場関係者と連携しながらアピールしていく。

4 月 28 日に札幌市内の札幌パークホテルで第 78 期通常総会を開き、2024 年度事業報告、25 年度事業計画案などを承認した。同組合は、札幌を中心とした道央圏の鮮魚小売店、海産物問屋、飲食店などで組織。3 月末時点の正組合員数 110 人となっている。（みなと新聞 2025.5.23）

都市港湾で半閉鎖養殖
川崎重工がシステム開発

川崎重工業（東京都港区、橋本康彦社長）は 14 日、ろ過処理した海水で成育する海面半閉鎖式いけすによる養殖システムを開発したと発表した。船舶やガスタービンなどで培った流体解析技術を応用していけす内の水流を予測。水処理プラントの開発技術を生かした酸素量の制御などにより、海面ながら陸上養殖に匹敵する高い包容密度で生産可能なシステムを構築した。2027 年にシステム販売や水産業者と連携した運用などの商業化を目指す。

マルハニチロと神戸で育成試験

マルハニチロ（池見賢社長）と連携し、1 月に設置した神戸港（神戸市）の川崎重工の工場岸壁海域に 30 ㌧の閉鎖式いけすで、トラウトサーモンの育成試験を実施している。1 尾約 1 ㌔を 900 尾池入れし、1 尾 2 ～ 3 ㌔にまで成長させて月内にも初水揚げを予定する。飼育密度は 6 %。他魚種の生産も検討中だという。

川崎重工は 21 年から養殖システムの開発に着手。22 年からマルハニチロの漁場で開発を進め、計 4 回の生産実証実験を行った。システムの名称は「MINATOMAE（ミナトマエ）」。消費地や物流拠点に近い都市部の港湾や海岸近くなど、これまで難しかった場所での養殖が可能になる。

閉鎖式でいけす内の環境を管理するため通年出荷できる。消費地の近くにあるため需要に合わせ安定的な生産が可能で、高鮮度で流通できる上、輸送コストが低減する。成育水はかけ流しのため、ろ過する循環式に比べてコストが安いのも特徴だという。

いけすはシート状のビニール。閉鎖式で成育水は取水した海水をろ過するため外部からのウィルスや寄